

1 調査日 平成25年8月27日(火)

2 調査の概要

(1) 成人病センター(守山市守山五丁目)

成人病センターでは、高齢社会の到来に伴う疾病構造の変化、多様化する医療ニーズに見合う高度専門医療の実践等に対応するため、将来を見据えた病院の機能再構築に取り組むとともに、都道府県がん診療連携拠点病院として、県内がん医療の質の向上を図るとともに、本県におけるがんや心臓血管疾患等の生活習慣病等に係わる高度専門医療機関として、診療機能の強化を図っている。



また、病・病・診・在宅連携の構築に必要となる地域における医療専門職の人材育成やICTを活用した遠隔病理診断体制およびリハビリテーションシステムの構築を進めるとともに、健康情報の提供を通じて県民の健康づくりに寄与する取組や病気にならないための疾病・介護予防体制を整備するなど、全県型医療の構築を目指して、より質の高い医療サービスの提供に向けた取り組みを推進している。

こうしたことから、同センターの施設の概要や業務内容等について調査を行った。

(2) 中央子ども家庭相談センター(草津市笠山七丁目)

先月発表された平成24年度の本県における児童虐待相談件数は、市町と県(中央、彦根)子ども家庭相談センターを合わせて4,270件、対前年比で674件、18.7%の増加となっている。また、虐待種別では、「保護の怠慢ないし拒否(ネグレクト)」の割合が約4割、「身体的虐待」と「心理的虐待」が各約3割弱を占めるなど、非常に深刻な状況にある。



同センターは、設立後、児童家庭福祉行政の専門機関として、児童や女性の安全・安心な生活を保障するために様々な相談支援を行っているが、児童福祉法の改正によ

って、平成17年4月から市町が第一義的に児童家庭相談を行い、子ども家庭相談センターは、重篤事例の対応や市町への技術的援助・助言を行うこととされたことから、センターの果たす役割は、今後ますます重要となるものと思われる。

こうしたことから、同センターの施設の概要や事業内容等について調査を行った。